

2009年 新しい気持ちで出発!



「一年の計は元旦(にあり)」

この言葉はまず計画を立て、実行せよ。1年の計画は年の初めに立てるべきであるということを用いものです。しかし調べてみると、正しくは「一日(いちじつ)の計は朝(あした)(にあり)、一年の計は元旦(にあり)」と言うそうです。



勉強(に)において、計画を立てることは重要なことです。まず計画を立てる(PLAN)⇒実行する(DO)⇒評価する(CHECK)⇒改善する(ACTING)、このPDCAサイクルをまわすことで、スムーズに勉強をすすめることができます。自分のたてた目標を「達成するぞ!」と強い気持ちを持って出発し、ぜひ皆さんの目標を達成して欲しいものです。私たちは皆さんの目標が達成できるようサポートしていきます。

今年の正月は「箱根駅伝」が印象的でした。優勝は東洋大学。東洋大学は7年連続67回目の箱根駅伝出場ですが、往路、復路、総合ともまだ一度も優勝の経験がありません。

往路では5区の1年生ランナーの柏原選手が、小田原中継所で4分58秒もあつた差をひっくり返し、8人抜きで大逆転し、見事往路初優勝を遂げました。

東洋大学は、今大会のダークホース的存在でしたが、優勝候補は早稲田・駒澤大の2強で誰も東洋の優勝は考えていませんでした。しかも、大会直前の不祥事から監督は引責辞任、参加が懸念されましたが、晴れ舞台への出場が認められるということがあつただけに、この大会に対する各選手の入れこみも相当なものがありました。



復路トップでスタートした東洋大は、山下りの6区から早稲田大学と激しい首位争いを繰りひろげました。昨年同区間で区間1位となつた早大の加藤創太(に)トップを奪われ、7区でもリードを許しましたが、じりじりとその差を詰めていくと、8区の千葉優選手が再逆転。その後は、9区の大津翔吾選手、10区の高見諒選手が安定した走りを見せ、トップの座を守り切りゴールテープを切りました。箱根駅伝では、優勝チームは最後のランナーや監督を胴上げして勝利を祝うのですが、東洋大学は不祥事もあつてか箱根駅伝史上ではじめて胴上げをしませんでした。

私たちは東洋大学の選手たちから「やればできる」ということを学びました。「奇跡は起きるのでなく起こすもの」君たちの中に奇跡を起こせるよう、さあ、2009年強い気持ちで出発しましょう。

もしも、出会わなかったなら 夢はただの憧れるだけのものだった

もしも、出会わなかったなら 新しい一歩を踏み出せないでいた

もしも、出会わなかったなら 自分の可能性すら気づくことがなかった

出会いが人を変え



出会いが未来を開く

■休業のお知らせ

1/12(月)成人の日⇒振替日 1/29(木)

1/30(金)・31(土)・・・第5週(に)つき

■中3土曜特訓ゼミの1月実施日

1/10(文系科目)・1/17(理系科目)・1/24(私立対策)

時間 午後1時30分～5時30分

◎友人紹介キャンペーンの実施(に)ついて 期間 1月8日～3月31日

友だちの中で、

「まだ塾に通っていない人」

「成績が伸び悩んでいるので塾をかえてみたいと思っている人」はいませんか。そんな友だちを紹介してください。

エクシード 各教室では、友人紹介キャンペーンを実施します。この期間紹介していただいた塾生の皆さんや友だち(に)は下記の特典がありますので、友だちをどんどん紹介してください。

- | | |
|------------------|---------------------------------------|
| 特典 1. 紹介者が入塾した場合 | 2,000円の図書券を進呈、また月謝10,000円が1ヶ月分免除されます。 |
| 特典 2. 新しく入塾した生徒 | 入塾金15,000円全額免除・後期維持費6,300円全額免除されます。 |

友人紹介のキャンペーンのカードは各教室に置いてありますのでお申し出下さい。

